

令和2年度事業報告書（案）

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

令和2年度事業の実施につきましては、コロナ感染症拡大の影響を受けて、見学会やイベントなどたくさん行事が規模の縮小や中止となりましたが、感染防止対策を行い、九州運輸局をはじめ、関係機関、関係諸団体並びに業界各位の絶大なるご支援をいただき、また、会員の皆様方のご協力のお陰をもちまして、公益事業等を実施することが出来ましたので、その概要をご報告申し上げます。

I. 公益目的事業

1. 体験活動等（公益目的事業の区分4）

（1）海の教室 ～船との出会い事業～

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・港湾などの海洋産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業や海洋について認識を深め、海に対する関心を高めてもらふことが不可欠です。

このため、海事関係施設の見学会や船舶を利用した乗船ウォッチングなどの体験型学習会や出前講習を九州運輸局並びに関係団体等との共催により、次のとおり実施しました。

a. 乗船体験など（実施件数1件、参加者数61人）

令和3年3月17日(水) 北九州市 北九州市立石峯中学校1年生、教諭 61人

乗船体験：北九州市「第十八わかと丸」洞海湾内見学 葛島～八幡泊地

主催：(公社)九州海事広報協会、九州運輸局福岡運輸支局若松海事事務所

協力：若築建設(株)[わかちく史料館]、北九州市エコタウンセンター

b. 海事産業関連施設の見学会など（実施件数2件、参加者数92人）

令和2年7月21日(火) 唐津市神集島 唐津市立湊小学校5年生、教諭 16人

海の教室（出前講習）：「海運と船と港の役割」をテキストに講習

主催：九州運輸局佐賀運輸支局

協力：唐津汽船(株)

令和2年12月 8日(火)、11日(金) 下関市

山口県立下関工科高等学校機械工学科1年生、教諭 76人

施設見学：(株)ニシエフ、(株)瀬戸崎鐵工所

主催：九州運輸局

2. 海の日、海の月間（公益目的事業の区分8）

(1) 「海の日」「海の月間」関連行事広報

「海の日」「海の月間」を迎えるにあたり、国道交通省主唱の下、各地で実施される「海の日」・「海の月間」の関連行事として、九州管内で行われる各種イベントについて、令和2年「海の月間」行事計画一覧を作成し、九州運輸局、九州海事広報協会のホームページで案内しました。

(2) 「海の日」における海事功労者の表彰式典

令和2年「海の日」記念式典、海事功労者表彰式は多くの地区で中止となりました。海事功労者表彰を受けた皆さんへは、各団体から表彰状の伝達が行われました。

【北九州海の日協賛会】

国土交通大臣表彰	2名・1団体	
海上保安庁長官表彰	3名	
九州運輸局長表彰	6名	
九州地方整備局長表彰	10名・1団体	
第七管区海上保安本部長表彰	8名・1団体	
北九州海の日協賛会長表彰	21名	計 50名・3団体

【九州運輸局管内（11地区）運輸局関係の表彰者】

○被表彰者（53名）

- 1 国土交通大臣表彰 13名
本局 (2) 若松 (1) 長崎 (1) 熊本 (1) 大分 (2) 鹿児島 (4) 下関 (2)
- 2 九州運輸局長表彰 40名
本局 (2) 福岡 (4) 若松 (3) 長崎 (8) 佐世保 (5) 大分 (4) 鹿児島 (10) 下関 (4)

3. 表彰、コンクール（公益目的事項の区分14）

(1) 第57回中学生海の絵画コンクール（九州・山口地区）

7月2日（木）審査員2名（穴吹（示現会会員）、綿引（新世紀美術協会会員））により審査を行い、金賞1点、銀賞3点、銅賞6点、佳作30点の入選作品、優秀校1校を決定しました。

入賞作品は、次の場所で展示会を開催しました。

- ・7月20日（月）～7月31日（金）（金・銀・銅・佳作40点）
門司港レトロ地区 旧門司税関 1F 観覧者数2,646人
- ・8月6日（木）～17日（月）（鹿児島地区の応募作品を展示）
鹿児島市 山形屋ななテラス 観覧者数約6万人
- ・8月13日（木）～18日（火）（佐世保地区の応募作品を展示）
佐世保市 佐世保玉屋画廊 観覧者数約400人

4. 上記の事業区分に該当しない事業（公益目的事業の区分18）

(1) 海事知識の普及事業

「海の日」・「海の月間」関連行事やモーターボート競走場などで行われている各種イベント会場を活用して、小中学生を中心とした海事普及のための資料や海の日グッズなどの配布しました。

モーターボート競走事業とタイアップした海事知識普及事業として「日本の海を愛するパネル展」を（一財）日本モーターボート競走会からの受託事業として次のとおり実施しました。

令和2年 7月 4日（土）ボートレース若松 公営レーシングプレス杯

令和2年 7月 19日（日）ボートレースからつ 住信SBIネット銀行杯

令和2年 9月 6日（日）ボートレース福岡

GⅢオールレディース LOVE FM福岡なでしこカップ

令和2年 9月 12日（土）ボートレース大村

ルーキーシリーズ第16戦 JLC カップオール進入固定レース

令和2年 10月 10日（土）ボートレース下関 BTS 山口あじすオープン9周年記念

令和2年 10月 18日（日）ボートレース芦屋 GⅢ第16回アサヒビールカップ

II. その他の事業（相互扶助等の事業）

1. 他の団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行配布

(1) 他の団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の協賛等を行いました。

- ・全国ビーチウォーク&クリーンアップ作戦

令和2年 7月 21日（火）唐津市立湊小学校5年生 神集島の白浜海岸海水浴場で清掃活動を実施。

令和2年 11月 1日（日）北九州市港湾空港局、北九州港振興協会（北九州海の日協賛会）が中心となって西海岸地区、レトロ地区で実施。清掃、啓発グッズの配布。

- ・2019 ジュニア・シッピング・ジャーナリスト（JSJ）賞入選作品展

（公財）日本海事広報協会が主催した、2019JSJ 賞「国土交通大臣賞」ほか入選作品の展示会を開催。

8月 1日（土）～ 7日（金）

門司港レトロ地区の旧門司税関（14 作品）

8月 17日（月）～28日（金）

下関市役所新館 1階ロビー（6 作品）

- ・「海の仕事へのパスポート」海洋キャリア教育セミナー

（公財）日本海事広報協会が主催。11月 12日（木）佐伯市立本匠中学校で出前講習を開催。実地講習や東京の講師とオンライン方式で結んだ講習を実施。画面共有機能を用いてスライドや動画を共有しながら海事産業に関する仕事を説明。ウェブ画面を通じて生徒との交流を図りました。

(2) 海事広報宣伝物等の発行配布

主な海事広報宣伝物等は次のとおりです。

1. 九州海事広報協会会報（9月・1月の年2回発行）
2. 海上の友（毎月1回発行）

3. 日本の海運 SHIPPING NOW 2020-2021
 4. 副教材「海運と船と港の役割」下関版、全国版
 5. ぼくとわたしのシップガイド
 6. 船ってサイコー！
 7. 船の仕事ってなに？
 8. 内航海運の活動
 9. 船乗りになろう リーフレット
 10. 内航船 ペーパークラフト
 11. 九州のフェリーガイド
 12. 気軽な船旅フェリーパンフレット
 13. 心に響く感動の船旅 クルーズをもっと身近に旅客船
- ※ 配付グッズ
- 「海の日」うちわ
 - 「海の日」下敷き
 - 「海の日」クリヤホルダ
 - 「海の日」ノート
 - 「海の日」除菌ウェットティッシュ
 - ボールペン
 - メモ帳

Ⅲ. 庶務事項

1. 総会

令和2年5月14日（木）於：北九州市 リーガロイヤルホテル小倉

- (1) 令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件
- (2) 役員任期満了に伴う改選に関する件
- (3) その他（報告事項）

ア 令和2年度事業計画及び収支予算について

2. 理事会

- (1) 令和2年4月17日（金）【書面による理事・監事全員の同意】

ア 令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件

イ 令和2年度通常総会において出席しない社員は書面によって議決権を行使できることとする件

- (2) 令和2年5月14日（木）【書面による理事・監事全員の同意】

ア 代表理事の選定について

イ 業務執行理事（常務理事）の選定について

- (3) 令和3年3月2日 【書面による理事・監事全員の同意】

ア 令和3年度通常総会招集の決議に関する件

イ 令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認に関する件

- ウ 「公印管理規程」制定の承認に関する件
- エ その他 ・「給与・旅費規程」別紙 改正の報告
・代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

3. 監査

令和2年4月9日（木）

当協会監事による令和元年度事業並びに収支状況の監査

4. 会議等

- ・令和2年 5月28日 北九州「海の日」表彰式第1回打ち合わせ会議（門司港）
- ・令和2年 6月 9日 西日本海難防止協調運動推進連絡会議（意見照会）
- ・令和2年 5月21日 福岡市海の日協賛会総会（書面審議）
- ・令和2年 6月22日 令和2年度北九州海の日協賛会理事・実行委員会（書面開催）
- ・令和2年 6月22日 関門港ボート天国推進協議会総会（書面表決）
- ・令和2年 6月25日 九州クルーズ振興協議会総会（書面協議）
- ・令和2年 7月 2日 第57回中学生海の絵画コンクール（九州・山口地区）審査会
（門司港）
- ・令和2年 7月29日 令和2年海事功労者表彰状伝達式（若松）
- ・令和2年12月24日 令和2年海の日・海峡クルージング実行委員会総会（書面開催）
- ・令和3年 2月10日 全国海事広報協会事務局長会議（Web会議）
- ・令和3年 3月26日 令和2年度第2回北九州海の日協賛会理事・実行委員会（書面開催）

IV. 付属明細書

令和2年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容上補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

令和2年度 決算報告書 (案)

(1) 貸借対照表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 資産の部				
1.流動資産				
現金	0	0	0	
みずほ銀行(普通預金)	2,269,410	1,073,856	1,195,554	
北九州銀行(普通預金)	745,951	641,726	104,225	
未収金	0	194,200	-194,200	
流動資産合計	3,015,361	1,909,782	1,105,579	
2.固定資産				
(1)特定資産				
退職給付引当預金資産	1,100,175	880,087	220,088	
(2)その他の固定資産				
敷金	0	0	0	
一括償却資産	0	41,328	-41,328	パソコン
固定資産合計	1,100,175	921,415	178,760	
資産合計	4,115,536	2,831,197	1,284,339	
II 負債の部				
1.固定負債				
退職給付引当金	1,100,175	880,087	220,088	
固定負債合計	1,100,175	880,087	220,088	
負債合計	1,100,175	880,087	220,088	
III 正味財産の部				
1.一般正味財産	3,015,361	1,951,110	1,064,251	
正味財産合計	3,015,361	1,951,110	1,064,251	
負債及び正味財産合計	4,115,536	2,831,197	1,284,339	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2)正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	4,190,000	4,260,000	-70,000	
正会員	3,620,000	3,690,000	-70,000	
賛助会員	570,000	570,000	0	
事業収益	7,543,000	7,646,960	-103,960	
受託事業収益	7,543,000	7,646,960	-103,960	日本海事広報協会・日本モーターボート競走会
受取負担金	20,000	20,000	0	
受取負担金	20,000	20,000	0	
雑収益	45,510	45,043	467	
受取利息	36	31	5	
雑収益	45,474	45,012	462	海上の友発送手数料
経常収益計	11,798,510	11,972,003	-173,493	
(2) 経常費用				
事業費	10,005,876	10,205,541	-199,665	
制作費	131,400	119,880	11,520	
イベント開催費	3,061,400	2,986,400	75,000	
広報宣伝物費	131,378	60,006	71,372	
事務管理費	171,680	109,128	62,552	
表彰費	54,340	53,352	988	
審査費	30,000	30,000	0	
諸謝金	0	0	0	
臨時嘱託料	0	0	0	
給料手当	4,080,840	4,078,320	2,520	
臨時雇賃金	10,000	10,000	0	賞状書代
退職給付費用(引当金繰入)	176,000	176,000	0	
福利厚生費	567,142	566,022	1,120	
会議費	7,322	5,037	2,285	
旅費交通費	165,136	214,020	-48,884	
通信運搬費	308,224	296,774	11,450	
一括償却資産減価償却費	33,062	33,062	0	パソコン
消耗品費	171,685	123,900	47,785	
印刷製本費	17,600	17,280	320	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	779,405	1,314,750	-535,345	バス貸切・用船料・借室料等
雑費	109,262	11,610	97,652	
管理費	728,383	950,042	-221,659	
広告宣伝物費	20,469	2,851	17,618	
給料手当	166,000	166,000	0	
退職給付費用(引当金繰入)	44,000	44,000	0	
福利厚生費	141,786	141,505	281	
会議費	33,275	295,074	-261,799	総会・理事会等
旅費交通費	6,444	8,400	-1,956	
通信運搬費	34,447	45,255	-10,808	
一括償却資産減価償却費	8,266	8,266	0	
消耗品費	42,921	30,975	11,946	
印刷製本費	117,425	84,550	32,875	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	11,550	7,630	3,920	
図書費	3,696	0	3,696	
交際費	0	0	0	
支払助成金	0	0	0	
支払負担金	73,000	88,000	-15,000	各種会費等
雑費	25,104	27,536	-2,432	
経常費用計	10,734,259	11,155,583	-421,324	
当期経常増減額	1,064,251	816,420	247,831	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	1,064,251	816,420	247,831	
一般正味財産期首残高	1,951,110	1,134,690	816,420	
一般正味財産期末残高	3,015,361	1,951,110	1,064,251	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	3,015,361	1,951,110	1,064,251	

(注)「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(3)正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計
	海の教室	海の絵画	海の月間	モーターボート	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特定資産運用益								
特定資産受取利息								
受取会費					2,380,000	2,380,000	1,810,000	4,190,000
正会員					1,810,000	1,810,000	1,810,000	3,620,000
賛助会費					570,000	570,000		570,000
事業収益	1,980,000	0	163,000	5,400,000	0	7,543,000		7,543,000
受託事業収益	1,980,000		163,000	5,400,000	0	7,543,000		7,543,000
受取負担金					20,000	20,000		20,000
受取負担金					20,000	20,000		20,000
雑収益							45,510	45,510
受取利息							36	36
雑収益							45,474	45,474
経常収益計	1,980,000	0	163,000	5,400,000	2,400,000	9,943,000	1,855,510	11,798,510
(2) 経常費用								
事業費	2,190,433	318,210	184,694	5,409,006	1,903,533	10,005,876		10,005,876
制作費		24,200	107,200			131,400		131,400
イベント開催費		125,400		2,936,000		3,061,400		3,061,400
広報宣伝物費			49,500		81,878	131,378		131,378
事務管理費	143,686		27,994			171,680		171,680
表彰費		54,340				54,340		54,340
審査費		30,000				30,000		30,000
諸謝金						0		0
臨時嘱託料						0		0
給料手当	1,200,000			2,216,840	664,000	4,080,840		4,080,840
臨時雇賃金		10,000				10,000		10,000
退職給付費用(引当金繰入)					176,000	176,000		176,000
福利厚生費					567,142	567,142		567,142
会議費		7,322				7,322		7,322
旅費交通費	76,840	1,120	0	61,400	25,776	165,136		165,136
通信運搬費	122,206	48,228			137,790	308,224		308,224
一括償却資産減価償却費					33,062	33,062		33,062
消耗品費					171,685	171,685		171,685
印刷製本費		17,600				17,600		17,600
光熱水料費					0	0		0
賃借料	538,439			194,766	46,200	779,405		779,405
雑費	109,262					109,262		109,262

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計
	海の教室	海の絵画	海の月間	モーターボート	共通	小計		
管理費							728,383	728,383
広報宣伝物費							20,469	20,469
給料手当							166,000	166,000
退職給付費用(引当金繰入)							44,000	44,000
福利厚生費							141,786	141,786
会議費							33,275	33,275
旅費交通費							6,444	6,444
通信運搬費							34,447	34,447
一括償却資産減価償却費							8,266	8,266
消耗品費							42,921	42,921
印刷製本費							117,425	117,425
光熱水料費							0	0
賃借料							11,550	11,550
図書費							3,696	3,696
交際費							0	0
支払助成金							0	0
支払負担金							73,000	73,000
雑費							25,104	25,104
経常費用計	2,190,433	318,210	184,694	5,409,006	1,903,533	10,005,876	728,383	10,734,259
当期経常増減額	-210,433	-318,210	-21,694	-9,006	496,467	-62,876	1,127,127	1,064,251
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計								
(2) 経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額								1,064,251
一般正味財産期首残高								1,951,110
一般正味財産期末残高								3,015,361
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高								
III 正味財産期末残高								3,015,361

- (注) 1. 「公益法人会計基準」の運用指針(平成20年4月11日、内閣府公益認定等委員会)を適用して準拠し作成している。
2. 経常収益のうち、受取会費(正会員会員)は、公益目的事業会計と法人会計で折半している。
3. 管理費のうち、広告宣伝費・給料手当・退職給付費用・福利厚生費・旅費交通費・通信運搬費・一括償却資産減価償却費・消耗品費・光熱水料費・賃借料の80%を事業費に按分している。

(4)財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1)引当金の経常基準

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(2)固定資産の減価償却の方法

一括償却資産については、直接法による均等償却法で減価償却を実施している。

2.特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	880,087	220,088	0	1,100,175
合計	880,087	220,088	0	1,100,175

3.特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,100,175	(0)	(0)	(1,100,175)
合計	1,100,175	(0)	(0)	(1,100,175)

4.固定資産の取得価額、原価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
一括償却資産	123,984	123,984	0	パソコン
合計	123,984	123,984	0	

(5) 附属明細書

1.特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載しているため省略した。

2.引当金の明細

引当金の明細については、財務諸表の注記に記載しているため省略した。

(6)財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場 所	使用目的など	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	0
	預金	普通預金	運転資金として	2,269,410
		みずほ銀行	運転資金として	745,951
		北九州銀行	運転資金として	
流動資産合計				3,015,361
(固定資産)				
(1)特定資産	退職給付引当預金資産	定期預金	退職金の支払いに	
		みずほ銀行	備えたもの	1,100,175
(2)その他の 固定資産	敷金			0
	一括償却資産			0
固定資産合計				1,100,175
資産合計				4,115,536
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	退職金の支払いに	1,100,175
			備えたもの	
固定負債合計				1,100,175
負債合計				1,100,175
正味財産				3,015,361